

データベース化について

1. 目的

近年、有明海において、アサリ、タイラギ等の二枚貝類資源が減少しており、有明海沿岸の漁業者等からその資源回復が強く求められている。このため、平成27年度から29年度の3年間に
おいて、有明4県と国が協調し、国立研究開発法人水産研究・教育機構西海区水産研究所の
協力の下、有明海の再生に資する二枚貝類等の資源回復に向け、生息状況の把握を行うと
ともに漁場環境改善の取組を行っているところ。

一方、4県協調の取組は、極めて多岐・多様に渡っており、その全貌を把握することは容易で
はない。

このため、4県協調の取組の情報を整理・見える化し、

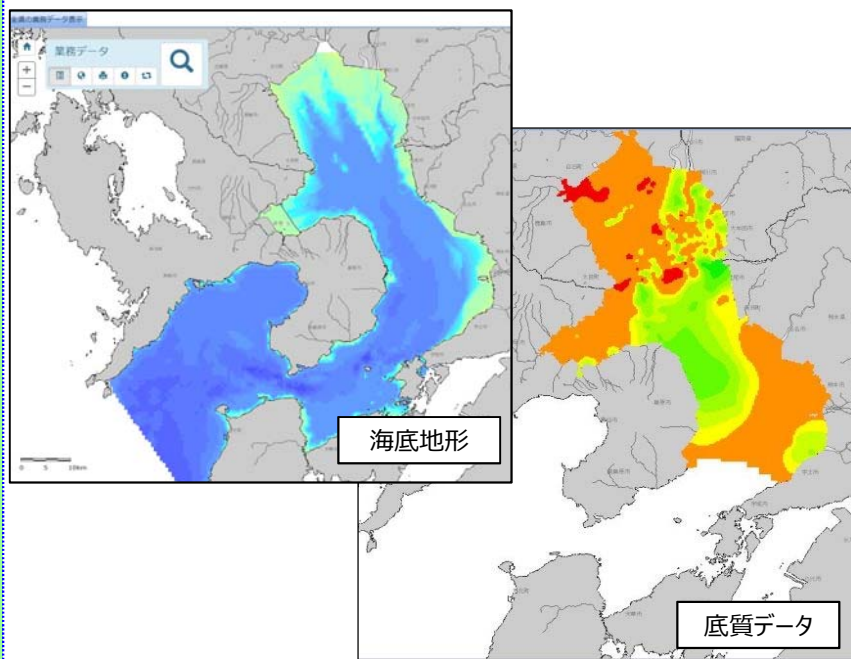
- ① 事業成果の共有の一助として、これまで困難であった、漁場や事業実施海域環境の全体像の把握を容易にするとともに、
- ② 今後、さらに効率的かつ効果的な取組を実施していくために各県の取組の調整を円滑化することを目的とし、データベースを作成する。

2. データの範囲

- 「基礎情報となる海底地形、底質などの環境データ」及び「4県協調の取組の調査等の実施位置・内容」をGISデータベースとして整理
- 環境データを背景図とし、調査位置図等の情報を適宜組み合わせることで、複数の情報をデータベースで一体的に確認することが可能

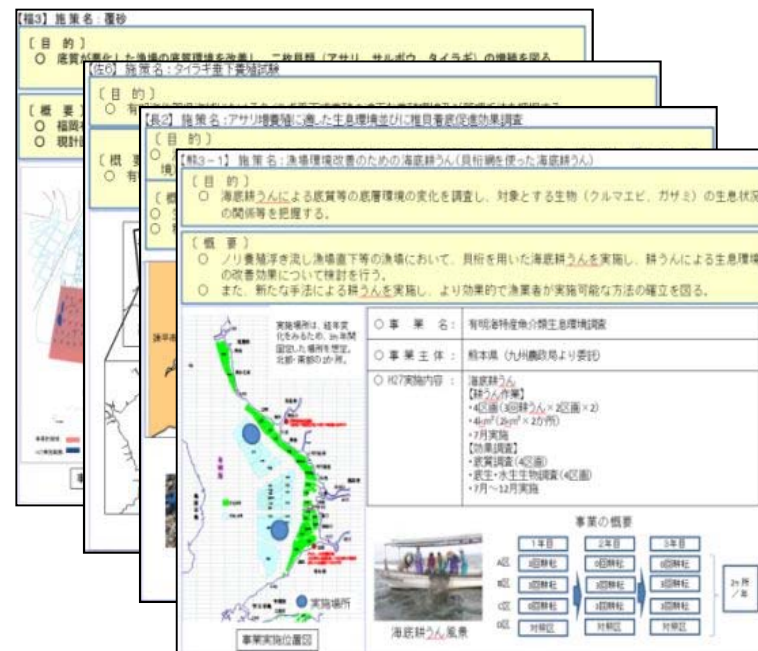
環境データ（基礎情報）の内容

海底地形、底質データ 等



4 県協調の取組の内容

覆砂、海底耕耘、網袋、移植・放流、保護区 等

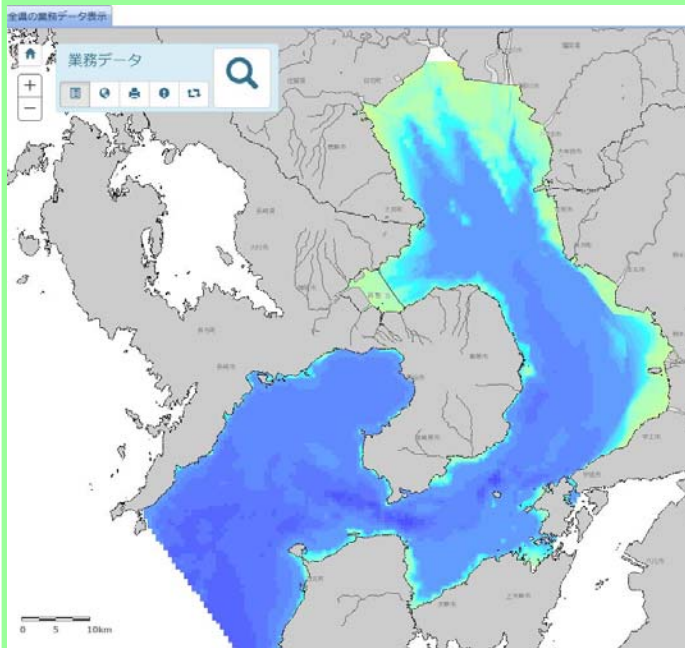


① 基礎情報となる環境データ

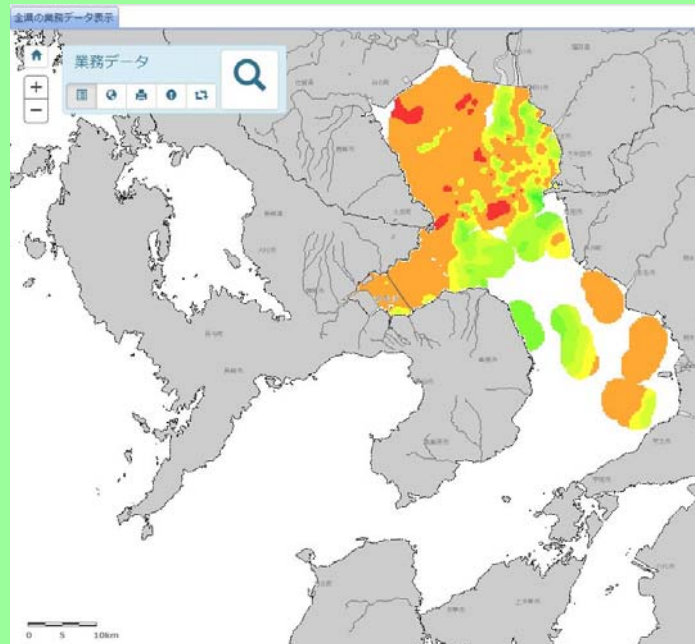
- 海底地形
- 底質データ(中央粒径、強熱減量、COD)
- 水質データ(溶存酸素、クロロフィルa、水温、塩分)
- アサリ浮遊幼生データ(推定産卵場、推定着底場、幼生供給ネットワークの推定) 等

収録した取組のデータ (例)

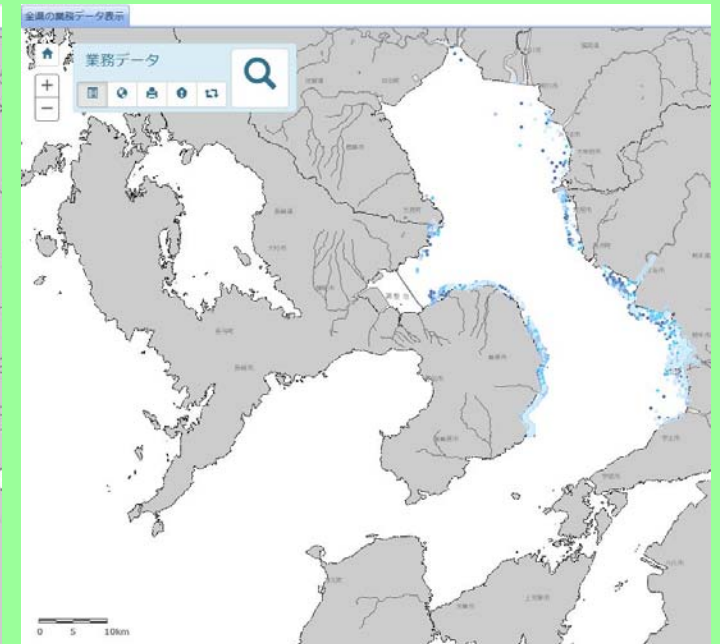
海底地形データ



底質データ



浮遊幼生着底場データ



② 4県協調の取組の調査等の収録データ

○ 底質改善データ(覆砂、作濡、海底耕耘)

○ 生残率向上・着底促進データ(網袋、高濃度酸素水、ナルトビエイ捕獲)

○ 資源育成データ(移植、放流、保護区) 等

※これらのデータについて、施策名、事業名、調査位置、調査日時、調査項目、調査方法、問い合わせ先を記載

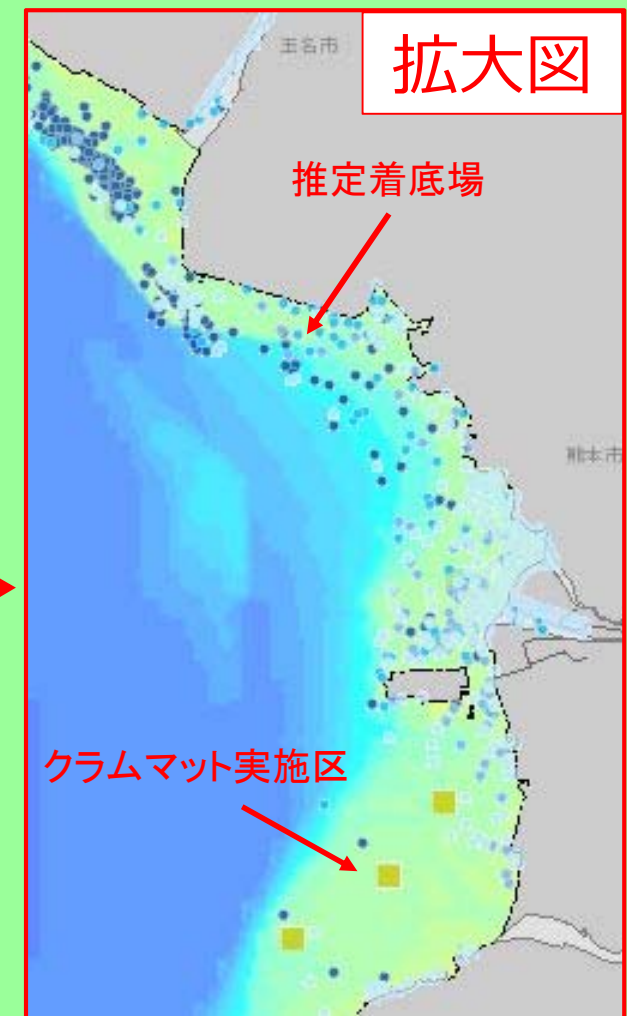
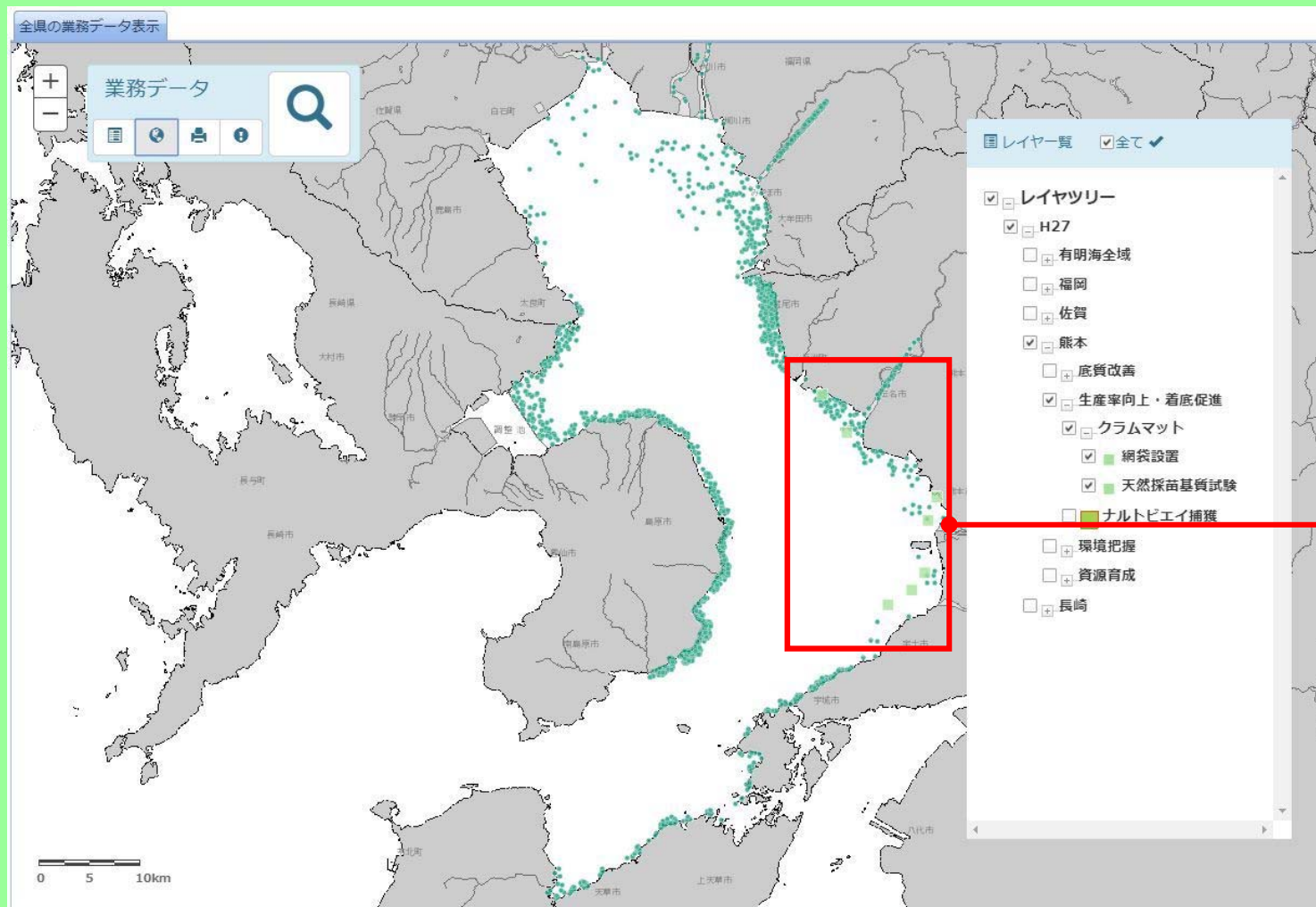
収録した取組のデータ (例)

施策番号	施策名	事業名	事業区分	事業項目	事業内容	対象魚介類	調査位置	調査項目	実施エリア	実施機関	部署名
福1	アサリ漁場の造成試験、天然稚貝採苗試験	有明海特産魚介類生息環境調査委託事業	底質改善	覆砂	二枚貝増産を目的にアサリ漁場造成(覆砂)、自然発生したアサリ稚貝を補足する天然採苗試験、有明海全域でアサリ、タイラギ等浮遊幼生の移動経路、着底場所、着底量を推定する数値シミュレーションモデル構築のため試料採取を目的としたアサリ、タイラギ浮遊幼生等調査。	アサリ	大牟田地先、柳川地先	底質環境調査 中央粒径値、泥分率、強熱減量、全硫化物 環境調査 流況 水温 塩分、クロロフィル、濁度 アサリ成育調査 分布密度、殻長組成 アサリ生残率調査 アサリ生残率	福岡県	福岡県	福岡県水産海洋技術センター有明海研究所
佐1・3	適正生息環境調査(アサリ・サルボウ)	有明海特産魚介類生息環境調査委託事業	資源育成	浮遊幼生調査	海底耕耘や稚貝採苗器設置、漁場機能回復やアサリ資源増大手法を検討 水質調査、生息に適した環境把握、生息状況確認、稚貝移植、漁場管理の必要性、死殻除去効果検証	アサリ、サルボウ	太良町地先の糸岐川、多良川河口域	・アサリ アサリ生残を高める取組(稚貝入り袋網、稚貝捕捉器、被覆網設置) ・水質調査 広域、精密調査 ・サルボウ 生息状況、稚貝移植試験、漁場機能確認、死殻除去効果把握試験	佐賀県	佐賀県	
長1	高濃度酸素水供給による貧酸素対策調査	有明海特産魚介類生息環境調査委託事業	生産率向上	高濃度酸素	貧酸素対策調査によってもたらされる高濃度酸素水がアサリ等に及ぼす影響を把握するための調査を実施した。	アサリ	長崎県	底質調査 全硫化物、粒度組成、底生生物 アサリ生残率調査	長崎県	長崎県	長崎県水産部
熊3-2	漁場環境改善のための海底耕うん(様々な耕うん器具を使った海底・干潟耕うん)	有明海特産魚介類生息環境調査委託事業	底質改善	海底耕耘	海底攪拌を行い底質等底層環境の変化とクルマエビ等生息状況の関係等を把握するため、海底攪拌による水生生物、底生生物、底質の変化について調査	クルマエビ、ガザミ	牛水沖、岱明沖、河内沖、川口沖	海底耕耘 水生生物調査 底生生物調査 底質調査 粒度組成、CODsed、硫化物、強熱減量	熊本県	熊本県	農林水産部水産局水産振興課

組み合わせの例

○母貝団地の選定

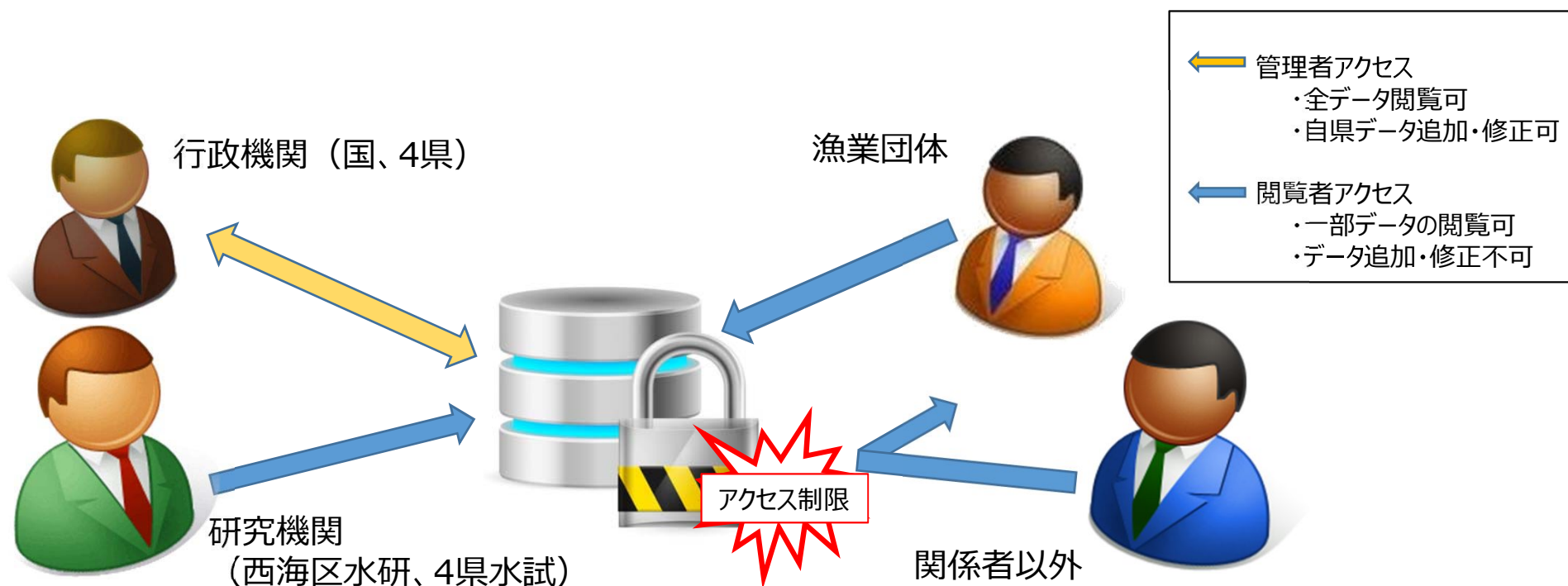
浮遊幼生シミュレーションによって推定された二枚貝類の着底場について、母貝団地の造成地の検討に用いることで、以前に比べ、より効果的な選定が可能



※拡大図は一例であり、着色の有無、等深線の有無が選択可能

3. データベースの利用者

- 本データベースには漁業権設定情報、主要漁場、保護区の設定状況等の秘匿性のある情報が数多く含まれる。
- このため、秘匿情報の管理等の観点から、本データベースの利用者は、原則、国、有明沿岸4県及び4県漁業団体(本所)とする。



※IPアドレスによる制限～各パソコンに割り当てられた判別番号（IPアドレス）により、データベースに接続できるパソコンを制限